

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービスふくっこ		公表日		令和8年 3月 27日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	0			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	1		・配置数は適切であるが、ご利用者のその日の状態(機嫌や体調等)によって少ないと感じることがある	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	0	・車椅子のまま入れるトイレを設置している ・個別にその日のスケジュールを作成しているが、ご利用者によって、イラストと文字で示している		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	0	・身体を動かして遊ぶスペースと学習等を行うスペースを仕切っている		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	0	・集中して自立課題や宿題に取り組みたい時、一人で静かに過ごしたい時、クールダウンしたい時等、個室を提供している		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	3	2	・勤務時間の関係で参加できない職員には、後から議事録読んでもらっている	・できるだけ、職員全員で話し合える機会を設けたい	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	・保護者の方の意向を、次年度の活動プログラムに反映している		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	2	・勤務時間の関係で参加できない職員には、後から議事録読んでもらっている	・できるだけ、職員全員で話し合える機会を設けたい	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	5			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0			

適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0	・法人のホームページで公表している	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5	0	・ご利用者の日々の記録を残し、個別支援計画に反映している ・定期的に、保護者の方と話し合う機会を設けている	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3	2	・支援計画を作成する際は、職場内で支援会議を行って作成している ・児童発達支援管理責任者1人の視点ではなく、職員何人かの視点を出し合って検討している	・勤務時間の関係で、職員全てが支援会議に参加しているわけではない
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	1	・支援計画作成時、全ての職員が確認している	・6か月ごとに、計画に沿った支援が行われているかモニタリングを行っているが、もっと短い期間に様子が変わる方がいるので、ご利用者によっては、もう少し短いスパンでモニタリングをしたほうがよい
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	2	・日々の様子を記録に残し、その時々のご利用者の状況を把握している	・標準化されたツールは用いていない
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	1	・定期的にモニタリングやアセスメントを行い、本人支援に対して具体的な支援内容を設定している	・移行支援、及び地域支援・地域連携の支援に関して、積極的な関与を行っていない
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	1	・毎月一回、職場内会議を開催して、次月の活動プログラムを検討している	・勤務時間の関係で、職場内会議に参加できない職員がいる
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	1	・本やネットを活用しながら、集団遊びや創作活動を考えている	・障害を持つ方が利用できる施設が限られていて、外出先が固定化してしまっている
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	0	・ご利用者一人ひとりの状況を考慮して、無理のない活動を提案している	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3	2	・内容の伝達・確認を個々に行っている	・勤務時間の関係で、全員での打ち合わせができていない
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2	3	・その場にいる職員で振り返りを行っている	・送迎から戻っていなかったり、退勤時間の早い職員がいるため、全員で行う時間がとれていない
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	2	3	・その日のうちにとれなかった記録を翌日の出勤直後に書くことがある	・支援終了後、記録を書く時間がとれないことがある

	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	1	・6か月に1回、モニタリングの機会を設けている ・モニタリング会議に参加できない職員には、後日、議事録に目を通してもらっている	・職員全員で、モニタリング会議を行えるとよい
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	4	1		・地域交流の機会を、今よりも多く設けられるとよい
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5	0	・選択肢を示したり、イラストや写真で提示するなど、自己選択や自己決定がしやすい方法で対応している	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0	・児童発達支援管理責任者だけでなく、保育士や児童指導員も参加している	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2	3	・学校への送迎時、先生方と日々の様子について共有している	・保護者から受診時のことを聞くことがあるが、主治医や協力医療機関等との連携はほとんど行っていない
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	0	・学校の月間予定や下校時刻等の情報は、保護者から伝えてもらっている ・学校によっては、アプリで情報を共有している	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	2	・就学のタイミングで利用開始される場合は、児童発達支援事業所等と情報共有している	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	1	・相談支援専門員を通して行っている	・移行先の事業所へ訪問する等、積極的な関与を求められる場合は応じていく
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	1	4		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	3		・たっぷく児童クラブとの交流が少なくなっている
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	0	5		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0	・送迎時や連絡帳、LINEを利用して共通理解を持っている	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	0	5		・保護者から求められる場合は、積極的に対応していく

保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0	・契約時に説明する時間を設けている	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0	・支援計画を改める前に、アセスメントを行っている	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5	0	・保護者に会えない場合は、電話で説明している	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4	1	・世間話的に送迎時に話すことがある	・面談等、改まった方法では行っていない ・必要とする保護者がいたら、面談の機会を設けていく
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	4	・学園祭(たっぶく祭)でワークショップを開催しており、参加した家族同士で交流できる	・父母の会の活動支援や保護者会等は開催していないが、需要があれば応じていく
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	2	3	・日々、活動内容を連絡帳を通して伝えている	・次月の活動予定を、アプリを使って保護者に発信していく
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0	・社内の機関誌に写真を使用する場合は、保護者の方に同意を得ている	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0	・視覚からの情報を得るのが得意なご利用者には、イラストや写真、実物等を用いて説明している ・会話が苦手な保護者の方とは、チャットを利用してコミュニケーションを計っている	
45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	0	・学園祭(たっぶく祭)でワークショップを開催している		
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0	・職場内では研修や訓練を行っている	・保護者への周知が不足している
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	1	・BCPを策定し、年2回避難訓練を行っている	・避難訓練の回数を増やしていきたい
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5	0	・保護者の方と情報共有している ・場合によっては、発作の状況を録画し、保護者の方に確認してもらっている	

非常時等の対応	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	2	3	・契約時、食物アレルギーに関して保護者から聞き取りをしている	・医師の指示書に基づく対応が必要なご利用者は、現在いない
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	1	4	・田原福祉グローバル専門学校一体として、安全計画を作成している	・安全管理に必要な研修や訓練は行っていない
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	1		・保護者への周知が十分ではない
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0	・ヒヤリハットの記録を残し、職員で共有している	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0	・学生バイトスタッフも含め、年に2回以上、虐待防止研修を行っている	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	0	・やむを得ず身体拘束を行う場合は、保護者から同意を受けている ・毎月、対象となるご利用者に関して検討会を実施している	